

当院における新型コロナウイルス感染症対策の取組みについて

新型コロナウイルスの感染者数が日々増加しており、大きな社会問題となっているなか、新型コロナウイルス感染症への感染が気になって、医療機関への受診をためらう傾向があるようです。不要不急の通院は避けたほうが良いですが、過度な受診控えは病状悪化のリスクを高めることとなり、そのような事態は避けなければなりません。

そこで、患者さまをはじめ、地域の皆さまに当院で実施している感染症対策をご紹介させていただくことで少しでも安心して受診していただけたらと考えています。

当院では、感染制御部を中心に新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。是非、安心してお越しください。



感染管理認定看護師
奥川 広子

当院での取組みの一例

検温お願いの掲示



病院建物は出入口を1か所に制限し、感染症対策の呼びかけや検温できる体制をとっています。

手指消毒の徹底



入館時に、来院者全ての方に手指消毒を行っていただきます。

サーモグラフィーの設置



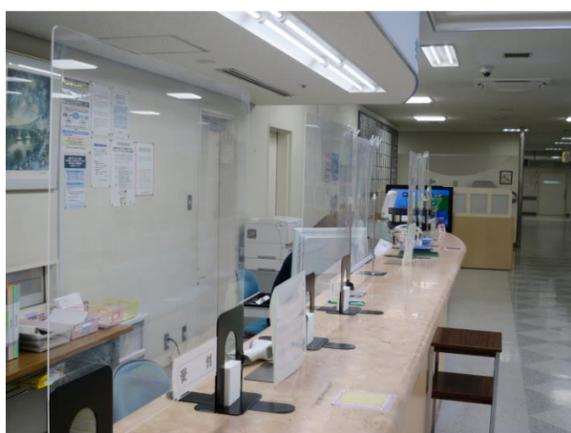
サーモグラフィーを設置し、来院者全ての方に検温をしていただきます。体温が37.3℃以上の方は入館をお断りしております。

ソーシャルディスタンスの確保



密にならないよう、ソーシャルディスタンス(人と人との間隔)をとっています。

飛沫防止ガードの設置



対面で接触する可能性のある受付等では、アクリル板やビニールカーテンを設置し、飛沫防止を行っています。

アルコール消毒



不特定の方が触れる可能性のあるドアノブ、椅子や手すりなども毎日消毒を行っています。